



二〇二三(令和五)年度 個別学力検査 後期日程

外国語学部中国学科 小論文

〔注意〕

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 試験時間は九時三〇分から一時〇〇分まで(九〇分間)です。
- 三 この問題冊子は表紙以外に二ページあり、解答用紙は一枚、下書き用紙は一枚あります。
- 四 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 五 解答はすべて解答用紙の解答欄に縦書きで記入してください。
- 六 句読点等は一字に数えます。
- 七 解答用紙の氏名欄を除き、受験者本人の特定につながるような氏名、住所、学校名等は記述しないでください。
- 八 解答用紙を持ち出してはいけません。持ち出した場合、試験をすべて無効とします。
- 九 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読み、問一・問二に答えなさい。

モスクワで「愛」や「吉」「和」のデザイン字をほめ込んだアクセサリーに驚いた。欧米では、漢字がファッション化してTシャツの柄に流行している。東アジアの最近の経済的台頭が漢字文化圏の台頭とも受けとめられていることを知り、中国で生まれた漢字が西洋と接触するまで東アジアの唯一の国際文字であった意味をもう一度考えてみた。

日本列島の人々も「論語」「千字文」(*1) 渡来以前から漢字と触れ合っている。邪馬台国問題に絡めて取り上げられる三角縁神獣鏡(*2)の銘文(*3)がそれを示している。早くから漢文が朝鮮半島との国際語になった。江戸時代の朝鮮通信使も漢文を主体に交流したという。幕末、ペリー来航で結んだ日米和親条約も漢文が英語などと並んで公式文書とされた。

考えてみれば、中国も日本も朝鮮半島も古代からずっとそれぞれ同じ地域に滞留したうえに、漢字という手段で活発に交流したために、共通の文化エリアを形成した。強大な勢力を誇った古代エジプト文明は断絶した。ヒエログリフが一九世紀に解読されるまで長く忘れられた文字であり、太陽神崇拜もイスラム化によって消え去ったのである。広大な東アジアで同じ文化圏が連綿と四千年、五千年も一貫して現在に至ったことは世界的に奇跡の部類に属するのではないか。

漢字文化を共有していた結果、明治以降に日本人が西洋文献の翻訳で作った和製漢語が中国、朝鮮でも取り入れられた。国名「中華人民共和国」のうち「人民」も「共和」も和製漢語だった。「演説」が英語の「スピーチ」を汲み取った福沢諭吉の創作であることはよく知られている。中国で使われている和製漢語は少なくとも千語以上とみられる。

漢字ほど西洋の思想や科学知識を自分たちの言葉に置き換えるのに便利だった文字はない。「デモクラシー」は「民主主義」となり、「みんしゅしゅぎ」を聞いた西洋人は音にデモクラシーの痕跡がなくなっても、意味が残る漢字の造作力に驚嘆するという。

日本人は古代に平仮名、片仮名だけでなく、国字も創作して知恵を養い、西洋語に出会ったとき、いち早く漢語訳を成功させることができた。「資本論」など多彩な和製漢語の展開が遅れていたら、東アジアの近代化はどうなっていたか。日本人の西洋文化受容の成果を取り入れることができたのは同じ文化圏に属していたからである。

これまで「中国文化圏」とか「儒教文化圏」とふつうに呼ばれてきたが、この表現では日本や朝鮮半島の文化的影響が軽視されている。「漢字文化圏」という表現なら、影響を及ぼし合ってきた歴史も含まれ、東アジアの文化DNA(*4)の^{まじりな}絆を認識できる。漢字を通してみれば東アジアがきつと変わって見える。互恵の関係が浮き上がる。まとまりを取り戻す契機として、加藤周一さんが晩年、特に強調していた「漢字文化圏」の再認識を提唱したい。

(*1) 漢字学習と書道の初心者用教科書として用いられる。一〇〇〇の漢字を二五〇の四字句につづったもの。

(*2) 銅鏡の一種、銅鏡裏面の縁の断面が三角形に作られ、浮き彫りの仙人や獣の文様が施されている。

(*3) 製作者や製作年など、像や器物に刻んだり書いてある文字。

(*4) DNAは生物の遺伝情報を保持している物質。文化DNAは、ある世代から次の子孫へ連綿と伝わる文化の意。

問一 王敏「漢字文化圏 東アジアの絆を認識しよう」『朝日新聞』二〇一〇年二月一八日による。ただし、出題に際し原文の一部を改めた。

問一 問題文を四百字以内で要約しなさい。(百点)

問二 問題文を踏まえ、東アジアにおける漢字の汎用性について具体的な例を挙げて、四百字以内で述べなさい。(百点)

外国語 学部

中国 学科

科目名(小論文)

210-31 問二 問いかけ文

(誤) ~具体的な例を挙げよ~

(正) ~具体的な例を挙げよ~